

応援します！ # パートナーシップ構築宣言

「鳥取から独自の技術力を」、株式会社寺方工作所

■ 強みは独自の技術力

株式会社寺方工作所は、鳥取県でプレス金型やプレス加工製品を製造し、主に自動車向け・精密機器向けの部品を手がけている。

社長直轄の技術開発部隊では、これまで培った精密板鍛造技術を活かした開発を行っており、高度な温度管理により小物製品の連続鍛造成形を量産することのできる「温間鍛造技術」を開発した。

独自の技術力で取引先のニーズに応えるとともに、他社との差別化を図っており、その技術力は第5回ものづくり日本大賞で優秀賞を受賞するなど高く評価されている。



■ 取引先との信頼の積み重ね

取引先は県内だけでなく、遠方の取引先も多いものの、月1回程度は情報交換の場を設けており、定期的なコミュニケーションを取っている。長年付き合いがある先がほとんどで、これまで信頼を積み上げてきた。

ただ商取引を行うだけでなく、取引先に確かな技術の製品を届けるべく、技術力向上のために協力企業と連携し、技術員向けのクローズドな勉強会を開催するなど、サプライチェーンで技術力を向上させられるように意識した企業活動に取り組んでいる。

■ 「働きやすい職場」を目指して

同社は鳥取県の中部地域にあり、社員のほとんどは地元の出身。地元根付いた企業として、社員が健康で長く働ける職場、女性でも、中途採用でも活躍できる職場づくりに取り組んでいる。

例えば、これまで製造現場には男性を配属するのが慣習であり、女性の配属はほとんどしてこなかった。製造現場でも女性が活躍できる場所があるのではないかと発想の転換を行い、数年前、実際に製造現場配属として女性の採用を決めた。これを皮切りに女性の配属も進め、現在では5名が製造現場で働くなど、事務や品質確認の部署だけではない女性の活躍を実現することができた。

製造業未経験から転職した中途入社の女性社員からは、製造現場に配属され実際に業務に当たる中で、「ものづくりは初めてだったが、自分に合っている！」といった声も聞かれる。





こういった活躍の基本は健康。2020 年頃から始めた「健康経営」の取り組みは、社員の健康診断の血液検査数値が同業種平均と比較して良くなかったことをきっかけに開始。血圧計等の器具設置補助、スポーツジム・ヨガの月会費一部補助などを行い、まずは社員への健康意識向上に努めた。

年 1 回、夏前後の涼しい時期に、社員・家族参加型のウォーキング大会も実施。コロナ禍により一時は中止していたが、コロナの落ち着きとともに再開した。会社の周りをぐるりと 1 周、約 5 キロの定番コースを、社員の家族を含めた 4~50 名が参加するイベントとして、好評を

得ている。

こういった取組により、社員の血液検査の結果は改善。これからも、働きやすい職場で個々が活躍をし、鳥取から確かな技術を発信していく。

【会社概要】

会社名：株式会社寺方工作所

所在地：鳥取県東伯郡北栄町田井 175

パートナーシップ構築宣言日：2024 年 9 月 10 日

<https://www.biz-partnership.jp/declaration/72568-05-23-tottori.pdf>

■担当者の一押しポイント

働く全ての社員が健康で長く働ける、活躍できるような職場づくりを目指している企業だった。社員を大切にするように取引先も大切にし、独自の技術力で取引先のニーズに応え、活躍する社員によって、同社の独自技術はさらに磨かれていく。

